

【公園整備に関するワークショップを行いました!】

地区の防災性向上を目的に、オープンスペース確保の取り組みとして、公園用地の取得を進めています。これまでに、上十条一丁目地区で約440㎡の用地を取得しています。

平成27年11月～平成28年2月の間で計4回、公園整備のためのワークショップを開催しました。

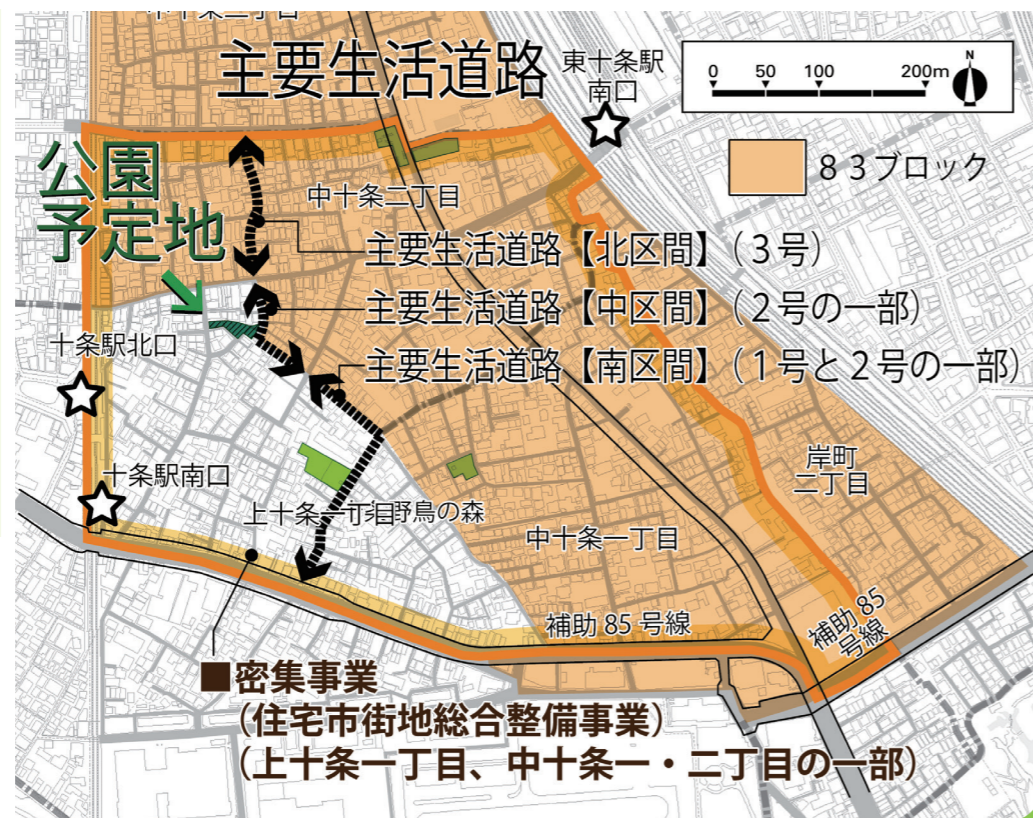
ワークショップでのご意見等を基本方針として、今後基本設計を行い、来年度から地中埋設物調査や実施設計（詳細設計）等を行います。今後も、町会や近隣の方へのお知らせ・相談をしながら進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【密集事業(住宅市街地総合整備事業)の事業期間を、平成32年度まで延長します!】

平成18年度～平成27年度までの事業期間としている住宅市街地総合整備事業(密集事業)について、事業期間延長の手続きを進めています。延長は5年間(平成32年度まで)を予定しています。

今後とも事業へのご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



十条地区まちづくり全体協議会

83号線ブロック
まちづくりニュース

2016
第3号

平成28年(2016年)3月発行

発行/北区十条・王子まちづくり推進担当部十条まちづくり担当課

このニュースは、十条地区まちづくり全体協議会83号線ブロック(中十条一・二・三・四丁目、岸町二丁目)にお住いの皆さまに配布しています。

～ 83号線ブロック部会の活動報告 ～

平成27年度は、以下の通りブロック部会を3回開催しました。補助83号線I期区間周辺のまちづくりが進捗する一方で、中十条三丁目を対象とする補助83号線II期区間やその周辺、また、岸町二丁目のまちづくりの方向性について話し合いました。

平成28年度も引き続き、83号線ブロックのまちづくりについて話し合いをしていきます。

◇ 第31回ブロック部会 (H27.10.27)

【議題】

1. 補助83号線沿道(II期区間)のまちづくりについて

【報告】

1. 補助83号線の進捗状況について
2. 密集事業の進捗状況について

◇ 第32回ブロック部会 (H27.12.11)

【議題】

1. 中十条三丁目のまちづくりについて
2. 岸町二丁目のまちづくりについて
3. 補助83号線沿道のまちづくりなどについて

【報告】

1. 十条地区のまちづくりの進捗状況について

◇ 第33回ブロック部会 (H28.3.10)

【議題】

1. 中十条三丁目のまちづくりについて
2. 岸町二丁目のまちづくりについて
3. 補助83号線沿道のまちづくりなどについて

【報告】

1. 「十条地区まちづくり基本構想」の修正について
2. 十条地区のまちづくりの進捗状況について



第33回ブロック部会の様子

「十条地区まちづくり基本構想」の修正について

■平成27年度修正作業

平成24年3月改定の「十条地区まちづくり基本構想」について、平成27・28年度で修正を行います。

■平成28年度修正作業と修正版の完成

このまちづくりニュースは、平成27年度に行われた83号線ブロック部会の活動内容について掲載しています。平成27年度のブロック部会に参加できなかった方も、平成28年度は、ぜひご参加ください。



問い合わせ先

事務局：北区役所 十条・王子まちづくり推進担当部 十条まちづくり担当課
北区王子本町1-15-22 電話：03-3908-9162(直通)

◇第31回ブロック部会の概要

第31回は、主に補助83号線の整備と、そのII期区間のまちづくりについて話し合いました。

【補助83号線の整備について】

参加者から『補助83号線はできるだけ早く事業を進めてもらいたい。通過する自動車が細い道に進入しており危険な状況にある』という意見があり、これに対して東京都は『できるだけ早く進めて参ります』と回答しました。

また参加者から『環七との交差部にある小さな神社はどうなるか』という意見があり、これに対して東京都は『交差部にある小さな神社については関係者と話し合いを始めたところですよ』と回答しました。

また参加者から『事業化されてから断面について説明するというのは遅い』という意見があり、これに対して東京都は『以前、提供した断面図では、自転車道がはっきりと分かれていませんでした。その後、将来予定される道路管理者や交通管理者と協議調整を行い、今年（平成27年）の9月に断面が決まりました』と回答しました。

【補助83号線沿道（II期区間）のまちづくりについて】

参加者から『平成28年度に予定されている密集事業の勉強会とはどのようなものか。区で決定した計画を説明するような会なのか』という意見があり、これに対して区は『密集事業とはどのような事業かとか、区内部で検討した課題や事業効果などについて示します。決定した事業計画を説明すると言うより、区が考える必要な事業について、まずは認識、共有してもらい、区と一緒に課題を解決する方策についての勉強会を予定しています』と回答しました。

また参加者から『地区計画において壁面の位置の制限とあるが、これは隣地から、例えば1m下げなさいということか。また、建築基準法で、防火地域または準防火地域で外壁を防火構造にすると隣地ぎりぎりに建てられるとあるが、どちらが優先するのか』という意見があり、これに対して区は『地区計画に合致する必要があります』と回答しました。

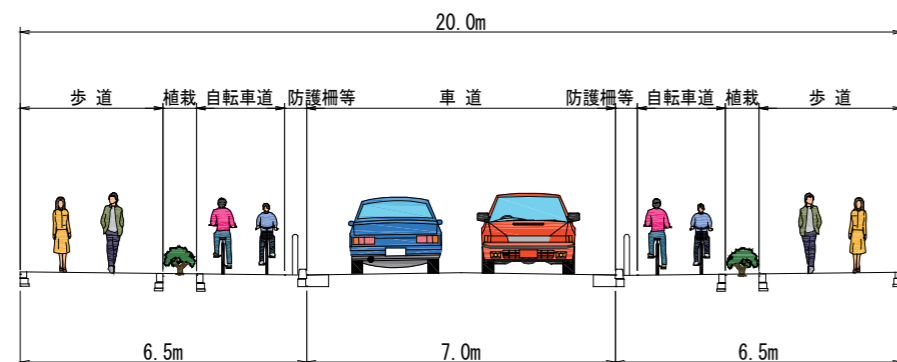
【補助83号線の横断面について】

第31回ブロック部会で、東京都から補助83号線の横断面図が示されました。

東京都の説明は、『道路管理者や交通管理者と協議調整を行いながら、断面の構造を検討してきた経緯があり、今年（平成27年）の9月にこの断面が決まりました。』、『標準部の断面は、自転車道が約2.0m、植樹帯が約0.8m、歩道が約3.2m

となります。ただし車線が増える交差点などは必ずしもこのとおりではありません。』ということでした。また、『今の計画では平成32年3月の完成をめざしています。なお、用地をお譲りいただいたところは困りだけでなく、歩行者が歩けるような空間にしたいと考えています。』ということでした。

【補助83号線の横断面図（標準部）】



補助83号線の横断面図に関する問い合わせ先
〒164-0001 中野区中野1-2-5
東京都 第二市街地整備事務所 工事課 設計担当
直通 03-5389-8224

※ 今後の調整により変更する場合があります。

◇第32回・第33回ブロック部会における、グループ別意見交換の概要

第32・33回は、中十条三丁目グループ、岸町二丁目グループ、補助83号線沿道のまちづくりなどのグループに分かれて、意見交換をしました。以下に概要を示します。

【中十条三丁目グループ】

参加者から、以下のような意見がありました。

- 『中央公園まではとても遠くて避難できない。かといって清水坂公園は中十条三丁目の高齢者は環七を渡ることで、現実的でない』
- 『中十条三丁目に公園を作る構想があるようだが、どこに作るのか』
⇒(区回答) 密集事業の中で公園等を整備していく計画ですが、今のところ用地が確保できていません。確保できたら随時、整備を進めていきます。
- 『補助83号線の整備により、中十条三・四丁目町会会館がなくなる』

- 『補助83号線が整備されれば歩道や緑地帯ができるなど、交通が安全になる。期待している。』
- 『道路整備で多くの人が新しい住宅を必要とする。また、北区は高齢化が進んでいる。六本木ヒルズのような高層住宅を作って、町会がまとまって入ってはどうか。』
- 『埼京線の立体交差化事業について、災害に強いまちづくりを進めなくてはならないことは承知しているが、だからといって50年以上住んできた家を簡単に手放すことはできない。高齢者も一緒に議論する場が必要だ』

【岸町二丁目グループ】

参加者から、以下のような意見がありました。

- 『避難所である十条台小学校に行く場合、裏門から入ることができれば最短経路で避難ができるが、現在は閉まっている。管理上の問題はあがるが災害時には開放されるようになると良い』
- 『岸町二丁目を南北に貫く道路は、幅員が狭い箇所がありすれ違いが困難。信号が少ないため北方向からの抜け道に利用されているなど交通上の問題がある。せめて4m以上の幅員は必要』
- 『隣棟間隔が狭く、行政の指導やルール作りが必要。本来なら2分割程度の敷地に3分割されて住宅が建つ。延焼の危険性のほか、日当たり、建物周りの工事にも入れないなど、生活上の問題も大きい』

- 『補助83号線に沿って急な崖があるため、地形的に道路整備も困難な状況』
- 『火災などを防ぐために、火災報知器や感震ブレーカーなどの設置に対して行政の助成があると良い』
- 『初期消火用に、車輪が付いた大型消火器を2丁目の中に4箇所ほど設置できるとよい』
- 『老朽化した建物は建てたままでなく、除却する、公園にするなどの対策も有効』

今後、議題にしたいこととして、「災害に強いまちの実現に向け、仕組みや可能性などの検討」などがあげられました。

【補助83号線沿道のまちづくりなどのグループ】

参加者から、以下のような意見がありました。

- 『補助83号線にかかるため建て替えを行う予定。都市防災不燃化促進事業を活用したい』
- 『空き家が増加。このままだと、火災や治安などの問題が大きくなる。空き家活用が進められれば良い』
- 『補助83号線が富士塚にかからないように線形をずらすべきという意見がある。富士塚の保全是重要だが、一方で、補助83号線を計画通り整備するのは十条の防災上極めて重要。保全の方法は様々あり、考え方は人によって異なる』

- 『補助83号線の幅員を13m狭めると、富士塚の参道の一部のみが道路にかかることになり、富士塚本体は保全されると思います』
- 『補助83号線沿道には柵があり、道路まで出る動線が複雑。日常生活で困っている人が多い』
- 『学校統廃合に関する検討が来年度から始まる。場合によっては通学路が変わるため、補助83号線との関係が無視できなくなる』

今後、議題にしたいこととして、「補助83号線の工事期間中の生活」、「学校統廃合による通学路変更等の可能性を踏まえた児童の交通安全確保」「鉄道付属街路（埼京線の西側住民も含めて意見交換したい）」「富士塚の保全と補助83号線の幅員」「十条まちづくり基本構想の修正」などに関することがあげられました。